

謹 弔

次の会員がご逝去なさいました。謹んで哀悼の意を表します。

森 永 虎 彦 氏	下関市医師会	12 月 12 日	享 年 90
岡 田 久 氏	厚狭郡医師会	12 月 17 日	享 年 83
下 井 利 重 氏	吉 南医師会	12 月 26 日	享 年 72
平 井 得 夫 氏	防 府医師会	1 月 13 日	享 年 91
水 津 昭 氏	下 松医師会	1 月 16 日	享 年 89
小 林 修 氏	柳 井医師会	1 月 27 日	享 年 69

編 集 後 記

昨年暮れに左環指末節骨を骨折した。

出張帰りの浜松町駅で、発車時間ぎりぎりだったので階段を駆け上がり、モノレールに駆け込もうとした瞬間、足が全然ついて来ず、ウルトラマンの飛行体勢のようにふわっ（じゃなくてシュワッ？）と宙を舞った。

左手から着地、モノレールのドア下のレールの部分に環指があたったようだ。痛いのは痛かったけど、それ以上に恥ずかしかった。何事もなかったかのように座席に座り左手を見ると環指の爪の付け根の部分からかなり出血があった。ハンカチで押さえる。ん、指先が左右に動くぞ？靭帯でも切れたかなあ。この時点では骨折とは全く思っていなかった。

羽田空港に着くなり、ドラッグストアに飛び込んで絆創膏を買う。出血しているのを見て店員がティッシュを 1 枚だけくれた。いつものように羽田空港で酒をのみながら軽く食事をして、また飛行機の中で飲んで・・・。当たり前といえば当たり前だが出血が止まらない。

山口宇部空港には妻が迎えに来てくれていた。あんまり出血が止まらないので帰る途中、病院に電話、「20 分後に受診するね」といって切る。ちょうど 2 次救急で整形外科の待機医がいた。X 線写真を撮ると見事な骨折！その後、手術となった。指にはまだ鋼線が 2 本、スクリューが 1 本入っている。ということで、左手環指に装具を付けた私を見ても「どうしたの？」って聞かないでください。

(理事 中村 洋)